

令和 2 年度
筑波大学基金
活動報告及び実績報告

国立大学法人筑波大学
事業開発推進室

令和 2 年度活動報告

■活動状況

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会の経済活動等が停滞する中、令和 5 年度の開学 50 周年を見据えた「創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金」及び「新型コロナウイルス流行に伴う『学生のための緊急支援金』」をはじめとする基金の募金活動を実施し、単年度で過去最高額の寄附金を獲得することができた。

コロナ禍における学生支援のための寄附金は、クラウドファンディングでの募金を含め、約 1 億 6,690 万円を集めた。このたびの寄附金約 1 億 6,690 万円並びにこれまで集めた大学基金から約 1 億 4,000 万円及び大学の予算を加え、総額約 3 億 6,855 万円を学生の経済支援として支出した。

大学基金の附帯事業として、平成 27 年度開始の「筑波大学カード事業」「筑波大学オリジナルワイン事業」、平成 28 年度開始の「筑波大学オリジナルコーヒー事業」を引き続き実施した。

また、基金以外の事業として、平成 28 年度開始の「スーツ事業」平成 30 年度開始の「ショッピングプラザ（サクラテラス）事業」、令和元年度開始の「筑波大学アプリ」による情報発信を引き続き実施した。

なお、熊本県との連携協定に基づく本学陸上部駅伝チームの熊本県における合宿は、令和元年度から引き続き実施された。

■新型コロナウイルス流行に伴う学生支援

○学生への経済支援

令和 2 年 4 月 7 日の第 1 回目の緊急事態宣言発令後、長引く自粛生活の中で、「家計の悪化による送りの減少」や「アルバイト先の休業」等に伴う学生の困窮が喫緊の課題となった。このことを受け、筑波大学では「学生経済支援パッケージ」による学生への経済的支援を行うことを決定し、学内での財源確保を開始。その中でなお不足している資金の調達については、「新型コロナウイルス流行に伴う『学生のための緊急支援金』」を新設し、筑波大学基金を通じてご寄附を募集することとした。

また、本学と契約を締結している株式会社 READYFOR と連携し、クラウドファンディングによるご寄附の募集も並行して行った。募集活動として、プロジェクトページに各分野で活躍する卒業生のメッセージを掲載した他、募集期間の後半で、著名な卒業生を招いてのオンライントークショーを YouTube 上で配信するなど、積極的な広報も行った。

その結果、本学教職員をはじめとする大学関係者、卒業生、近隣企業等の皆様の多大なるご支援があり、期間内に基金とクラウドファンディング合わせて約 1 億 6,690 万円のご寄附を集めることができた。

なお、「新型コロナウイルス流行に伴う『学生のための緊急支援金』」及びクラウドファンディングで募集した寄附金については、「学生経済支援パッケージ」の内、在籍する全学群生に対する一定額の給付型支援金として活用した。

- ・新型コロナウイルス流行に伴う「学生のための緊急支援金」

募集期間：令和2年5月11日（月）～6月30日（火）

寄附額：138,495,237円

寄附者数：4,107名

- ・クラウドファンディング

募集期間：令和2年5月14日（木）～6月30日（火）

寄附額：28,404,000円

寄附者数：延べ1,143名

- ・寄附合計額：166,896,237円

○学生への食料支援

経済支援実施後に学生の意見を収集したところ、コロナ禍による困窮は未だ続いているという声が多数あったため、令和3年1月22日（金）と令和3年2月17日（水）・18日（木）の2度にわたり、学生への食料支援を行った。

学生に配布する食料の提供については、近隣企業や農家の皆様に直接お願いするとともに、一般の方々にも大学の基幹HP等を通じて募集を行った。さらに、学生に対しては、学生部からの通知に加え、事業開発推進室で運営するTwitter・Facebook等のSNSを活用した周知を行った。

その結果、短い募集期間にも関わらず、第1回・第2回合わせて延べ90社以上の法人・団体、250名以上の個人の方々から、合計約30tもの食料が寄せられ、約4,700名の学生に食料を配布することができた。

支援を受けた学生には、食料を提供していただいた方々への御礼のメッセージを支援会場で記入していただき、そのメッセージを会場内に掲示した。

■筑波大学オリジナルボルドーワイン事業

ボルドー大学とのCampus-in-Campus（CiC）協定締結を記念し、平成27年度から、同大学の関連シャトーで醸造しているワインの輸入販売を開始した。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの販売機会が得られるかどうか不透明であったことから、ワインの輸入を見送ることとした。

また、ワインの販売は通常、株式会社カクヤスのオンラインショップのみで行っていたが、新たな販売経路拡大のため、株式会社カスミのご協力の下、カスミ筑波大学店・プルシェつくばキュート店の2店舗における実店舗販売を開始した。

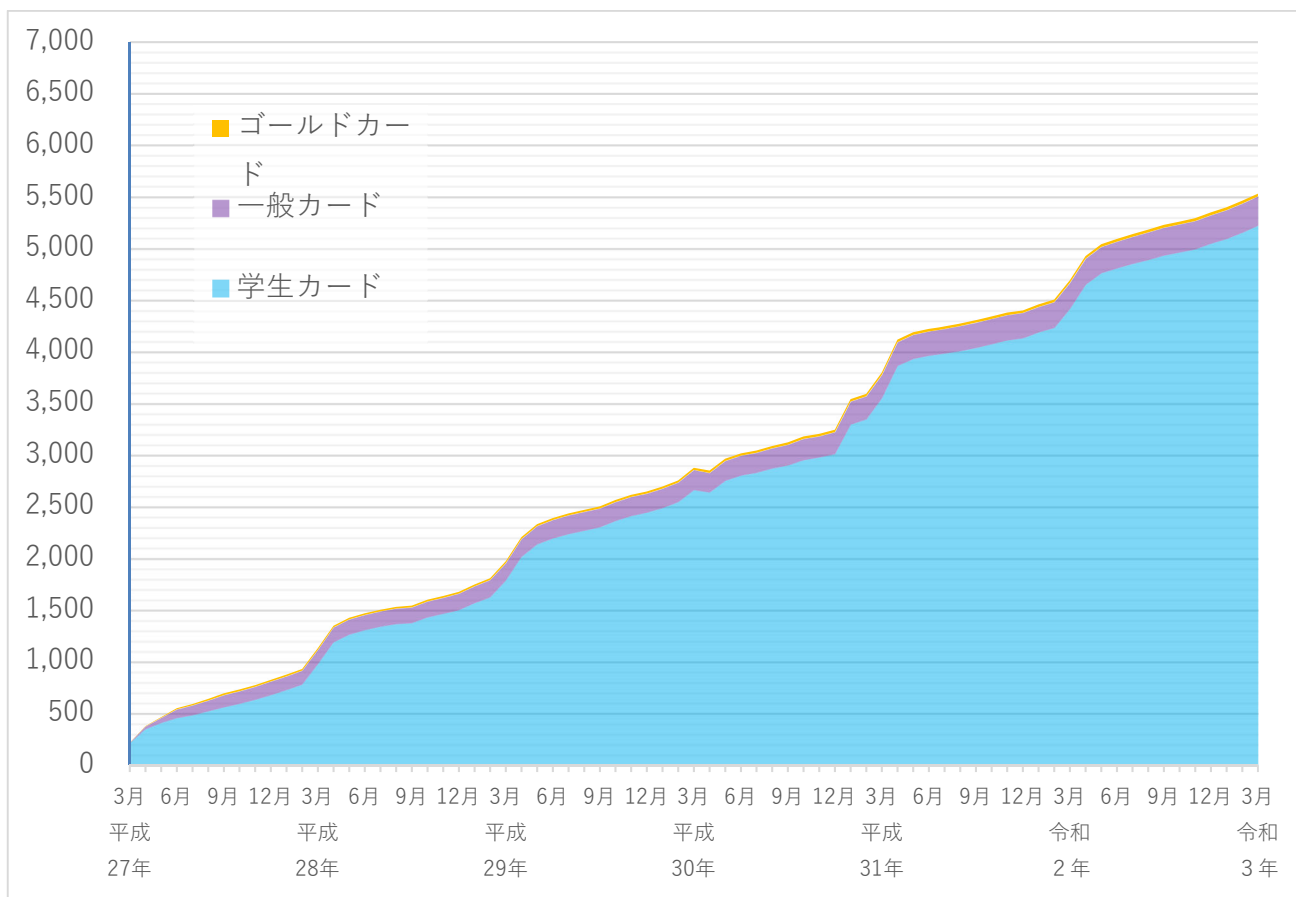
■筑波大学カード事業

三井住友カード株式会社と提携契約を締結の上、平成 27 年度より、大学関係者を入会対象とするクレジットカード機能付き大学カード（筑波大学校友会カード）事業を開始し、平成 29 年 1 月、「筑波大学校友会」が学外に設立されたことに伴い、「筑波大学カード」に改称した。5 年間でカードを 4,000 枚発行する目標を掲げ、5 年目の令和元年度に目標数を達成し、その後も着実に発行枚数が増加している。

本カードの最大の特徴は、大学近辺の商店や飲食店、全国展開の大型店、ホテル等約 300 の店舗・施設においてカードの提示により会員特典を受けられることである。

なお、三井住友カード株式会社からは、本カードの入会数に応じたあっせん手数料、会員のカード利用額に応じた、取扱手数料を定期的に筑波大学基金にご寄附いただくこととしている。

○筑波大学カード累計受付件数推移



○累計受付件数 令和 3 年 3 月末現在 5,534 件

○寄附額

令和 2 年度内の筑波大学カード発行数に基づくあっせん手数料 382,800 円

令和 2 年度内の筑波大学カード利用額に基づく取扱手数料 2,822,718 円

■筑波大学オリジナルコーヒー事業

本学のグローバル戦略及び世界展開力の一環として、平成 27 年 4 月にサンパウロオフィスを開設するとともに、サンパウロ大学、サンタ・クルス病院と協定を締結した。その記念として、サンタ・クルス病院の理事長が所有する農園のコーヒーを輸入し、茨城県に本社がある株式会社サザコーヒーと提携し、平成 28 年度から販売を開始した。

なお、株式会社サザコーヒーには、売り上げの一部を筑波大学基金にご寄附いただくこととしている。

○販売商品

商品名	販売価格
筑波大学アリアンサエステートコーヒー 豆 200g	1,300 円 (税込)
筑波大学アリアンサエステートコーヒー カップオン (9 枚入)	1,300 円 (税込)
筑波大学アリアンサエステートコーヒー カップオン (5 枚入)	900 円 (税込)

○売上額 4,382,950 円 (税込) (令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月)

○販売会社 株式会社サザコーヒー (茨城県ひたちなか市共栄町 8-18 (本社))
代表取締役会長：鈴木誉志男

○寄附額 令和 2 年度売上分に対し 876,590 円 (販売価格の 20%)

■株式会社ドームとの連携事業

平成 28 年度に、アンダーアーマーの日本総代理店である株式会社ドームと包括的連携協定を締結した。この協定は、スポーツを通じて社会、地域、学生生活をより豊かにすることを大義とし、また、それぞれの資源、研究成果等を活用することを通じてスポーツの産業化、国民の健康増進及び未来を支える人材の育成に資することを目的としている。

株式会社ドームには、本学体育会各部の試合用ユニフォーム等を無償で提供いただいている。

○提携会社 株式会社ドーム (東京都江東区有明 1-3-33)
取締役会長 代表取締役 CEO：安田秀一

○寄附額 令和 2 年度内に現物寄附として 試合用ユニフォーム等 22,683,085 円

なお、この包括的連携系協定は令和 2 年度末をもって期間満了となり、令和 3 年度以降は、本学アスレチック部門との部局間協定として改めて締結された。

■有価証券による寄附

令和元年12月に有価証券による寄附を受入れた。この寄附は、有価証券の配当金をもって本学教育研究の活動支援に使用するものであり、筑波大学基金内に新たに設けた「現物資産活用基金」として運営を行っている。

有価証券の受入れについては、平成30年の税制改正により、個人からの株式等の寄附について非課税措置の手続きが簡便化されたところである。

○有価証券 MCUBS MidCity 投資法人 3口 (348,600円)

○寄附者 鈴木英明様 (茨城県つくば市在住)

[基金以外の事業]

■スーツ事業

平成28年度から学生・教職員等の福利厚生のため、学生の入学時や就職活動等で必要となるスーツ等の割引販売を紳士服大手企業4社(AOKI、コナカ、洋服の青山、はるやま)と提携した。本事業は、割引販売にかかる広報に大学が協力することにより、提携各社より商品販売価格の一部を手数料として納入いただくもので、受入金は学生支援等に充当する予定としている。

○手数料額 令和2年度売上分に対し 3,173,409円

■ショッピングプラザ(サクラテラス)事業

学生及び教職員等の福利厚生、利便性の向上に資することを目的として、平成30年10月に筑波キャンパス南地区内にカスミ、サザコーヒーの2店舗を核とするショッピングプラザ(サクラテラス)をオープンし、3年目を迎えた。

カスミでは、本学の「つくば機能植物イノベーション研究センター(T-PIRC)」で生産されたお米やオリジナルワインの販売を開始したほか、フリースペースを活用したイベントを数回実施した。

サザコーヒーでも、季節ごとのイベントや定期イベント、新商品の先行販売会等を実施しており、学内関係者や近隣住民の方々の憩いの場、交流の場として定着しつつある。

○事業期間 平成30年4月4日～令和20年9月30日

■筑波大学交流広場事業の推進

筑波大学交流広場（旧称：筑波大学校友会）は、本学と卒業生・修了生、在学生、元教職員、教職員、課外活動団体及び各同窓会といった本学関係者との連携強化（交流促進、相互支援、最新情報共有化等）を目的として、平成24年4月からSNSを運用している。令和2年度は、利用者数の大幅な減少から従来のSNSを終了し、生涯メールアドレス（登録者数：約41,000名（令和3年3月31日現在））やLINE・twitter・Facebookなどのツールを積極的に活用して情報発信に務めた。

■筑波大学アプリの開発・運用

開学50周年に向け、スマートフォンアプリを介して大学の理念や歴史、在学生の活動状況等、様々な情報を発信することにより、ステークホルダーとの距離を縮め寄附に繋げることを目的に、令和2年1月にアプリをリリースした。

○契約相手方 フラー株式会社

所在地：千葉県柏市若柴178番地4柏の葉キャンパス148街区2 KOIL
代表取締役会長：渋谷 修太（本学理工学群社会工学類：2011年卒業）

○主な機能 (1) ニュース機能

卒業生をメインターゲットに筑波大学に関する様々なコンテンツを配信。
主に大学HP上で公開されている情報等を配信予定。

(2) 寄附機能

○ダウンロード数：2,685回（令和3年3月31日現在）

■地域との関係構築

「学長を囲む会」として、大学と地域を結びつけることを目的にスタートした。

メンバー拡大に努め、研究成果や大学に関連する情報を発信し、地域との交流を深めた。参加者も増加し、毎回150名を超える規模となった。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、上半期の「学長を囲む会」開催は自粛。下半期に2回、オンライン形式の講演会を開催した。

○会員数 312企業／団体（令和3年3月現在）

○「学長を囲む会」開催実績

開催日	講演内容
令和2年11月30日（月）	学長特別講演「筑波大学の1年間のあゆみとこれから」 永田 恭介 学長
令和3年3月1日（月）	「新興ウイルス感染症の出現機序とCOVID-19の現状課題」 医学医療系 川口 敦史 教授

■寄附者への感謝の集い

平成30年度から、寄附者への感謝の意を表するとともに、寄附者と大学との交流を促進し、繋がりを強化する機会として、寄附者への感謝の集い「TSUKUBA FUTURESHP CREW'S MEETING」を開催してきたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、会自体の開催を断念した。

その代替措置として、一般の寄附者（個人10万円以上、法人50万円以上のご寄附をいただいた方）向けには、オリジナルのエコバックと基金報告書を作成し、対象となる1,711名に送付した。

また、高額寄附者（過去5年間で500万円以上または附帯事業で協力いただいている寄附者）向けには、感染症対策を十分行ったうえで「TSUKUBA FUTURESHP CREW'S MEETING for SPECIAL」を対面開催する予定であったが、コロナ禍の情勢悪化に鑑み、年度内の開催を中止した。

次年度以降は、オンライン開催や対面・リモートのハイブリッド開催等も視野に入れ、新たな開催方法を検討していく。

■筑波大学関係者との連携：筑波大学校友会

筑波大学校友会（会長：江崎玲於奈）は、筑波大学の卒業生・修了生、在学生及び教職員等を構成員として、平成29年1月に設立された。令和2年度は、ホームカミングデーへの支援、学群卒業生への学位記収納ホルダの寄贈、校友会賞の授与の他、学生のキャリア形成に繋がる授業科目開設へもご協力いただいた。

同会の実施事業については、次の3点を掲げている。

- (1) 会員相互の交流と親睦に寄与する事業
- (2) 筑波大学との連携及び協力を推進する事業
- (3) その他本会の目的を達成するために必要な事業

○会員数 794名（令和3年3月現在）

■卒業生との連携：茗溪会

明治15年4月29日 当時の東京師範学校卒業生によって設立され、平成24年4月から一般社団法人茗溪会として活動しており、本学の開学当初から、多くの支援をいただいている。

また、平成30年4月に「茗溪・筑波産業人倶楽部」を発足させ、本学卒業生の産業人を中心したネットワークの構築と本学学生に対する支援を開始。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、オンライン形式でのキャリアカフェを2回開催した。

同会の目的として、次の3点を掲げている。

- (1) 会員相互の親睦及び互助並びに知徳の啓発を図る
- (2) 国立大学法人筑波大学の目的及び使命の達成に協力する
- (3) 学術、文化、教育並びに社会貢献活動及び国際相互理解の促進に資する

○会員数 約53,000名

■卒業生との連携：筑波みらいの会

「筑波みらいの会」とは、平成 24 年度に立ち上げられた「筑波大学出身経営者の会（仮称）」が、平成 25 年 5 月の総会において正式に発足したものである。令和 2 年度は、11 月開催のオンラインホームカミングデーへの支援をいただいた。

同会は設立意義として次の 3 点を掲げている。

- (1) 会員同士が連携・交流すること
- (2) 会員から大学及び学生に対して貢献・支援・連携すること
- (3) 大学の成果・情報を会員に提供すること

○会員数 49 名（令和 3 年 3 月現在）

■卒業生との連携：その他

○オンラインホームカミングデーの実施

例年、卒業生同士で旧交を温め、大学との関係も深めていただく目的で、学園祭の期間中に卒業生を大学に招待するホームカミングデーを開催している。通常は立食パーティ形式で開催していたが、令和 2 年度はコロナ禍に鑑み、オンライン形式で令和 2 年 11 月 7 日（土）に開催した。

全体の構成は前半・後半の 2 部構成とし、前半は、東京 2020 大会に出場する在学生や著名な卒業生らを招いてのトークショーと、卒業生の回答者 4 名を迎えての大学にまつわるクイズ大会を実施した。この模様は YouTube と Facebook でライブ配信し、留学生の卒業生向けに同時通訳の配信も並行して行った。後半は、卒後 20 年の卒業生を ZOOM で繋ぎ、懇談会を実施した。

○学長と卒業生とのオンライン交流会

卒業生とのリレーション再構築と、卒業生・大学双方の情報交換を目的として、令和 2 年 12 月から、ZOOM などのリモート会議システムを活用した学長と卒業生とのオンライン交流会を開始した。卒業生は、専用ホームページに掲載されている学長のスケジュールから希望の日時を選択し、参加申し込みを行う。

国内はもちろん、海外のような遠方に在住の方でも比較的容易に参加でき、学長から直接大学の現状をお話しいただけるということもあり、令和 2 年 3 月末までで 20 組 145 名と多くの卒業生にお申込みいただいた。

[その他大学の取り組み]

■READYFOR 株式会社との業務連携契約締結

平成 28 年 10 月に、クラウドファンディングサイト「Readyfor」を運営する READYFOR 株式会社と契約を締結し、クラウドファンディングを活用した寄附獲得のための業務提携を開始した。クラウドファンディング事業者との契約締結は、国立大学としては初の試みとなる。

○**担当部局** 財務部財務制度企画課

○**実績額** 令和 2 度内に実施したプログラム（4 件）に対する支援の総額として 33,672,000 円

※実績には、「新型コロナウイルス流行に伴う『学生のための緊急支援金』」として募集したプログラムも含む。

■エクステンション・プログラム

教育研究成果を社会に還元するため、「エクステンション・プログラム」を実施している。

本学 AI センターの協力の下、令和元年度に産学連携部と連携して実施した「AI 研修」については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した結果、令和 2 年度内の実施を見送ることとした。

○**担当部局** 産学連携部産学連携企画課

○**実績額** 令和 2 度内に実施した講座（14 件）による売上の総額として 25,521,600 円

令和 2 年度支援状況

■寄附状況

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大による募金活動の停滞があったものの、「新型コロナウイルス流行に伴う『学生のための緊急支援金』」をはじめとした、学生の支援に関連する基金へのご寄附が増加し、単年度で 4 億円を大きく上回る寄附金を受け入れた。

古本募金については、コロナ禍の影響で古本受入が一時停滞したこと等により、件数・金額ともに大幅減となった。給与控除については、「学生のための緊急支援金」募集後に微減している。

一般基金については、附属学校へのご寄附を中心に使途特定寄附が大幅に増加。特定基金では、紫峰会基金の受け入れ額が前年度より約 1 千万円減少したが、病院寄附金と修学支援事業基金が前年比で約 2 倍、留学生後援会基金が約 3 倍、創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金にいたっては、「新型コロナウイルス流行に伴う『学生のための緊急支援金』」を含めると約 7 倍、含めない場合でも約 2 倍の受け入れ額となった。

■令和 2 年度寄附受入実績

集計期間：令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

○現金による寄附 442,173,636 円 13,017 件

区分	寄附額（単位：円）		件数	
	令和 2 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 元年度
一般基金（「世界を変えよう基金」を含む…※1）	133,250,298	73,330,722	3,194	2,698
新型コロナウイルス流行に伴う「学生のための緊急支援金」	170,824,437	—	5,469	—
創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金	66,882,728	33,378,384	2,622	2,652
筑波大学スポーツアソシエーション（TSA）事業	5,116,000	30,244,791	247	1,300
附属病院支援事業（40 周年事業基金を含む）	26,617,000	13,893,000	56	34
紫峰会基金	26,954,026	36,730,206	1,101	1,399
留学生後援会基金	2,281,000	745,000	263	161
修学支援事業基金（「今川 FUTURE 基金」を含む…※2）	9,892,000	5,341,000	62	44
研究者の卵サポート基金	350,000	—	2	—
現物資産活用基金※3	6,147	5,865	1	1
合計	442,173,636	199,673,968 ※4	13,017	8,430 ※4

※1…「世界を変えよう基金」は、一般基金への寄附金として受け入れた資金を「筑波大学『世界を変えよう基金』（MDW 基金）運営要項」に基づき運用。

※2…「今川 FUTURE 基金」は、修学支援事業基金への寄附金として受け入れた資金を「筑波大学学生奨学金制度つくばスカラシップに関する要項」に基づき運用。

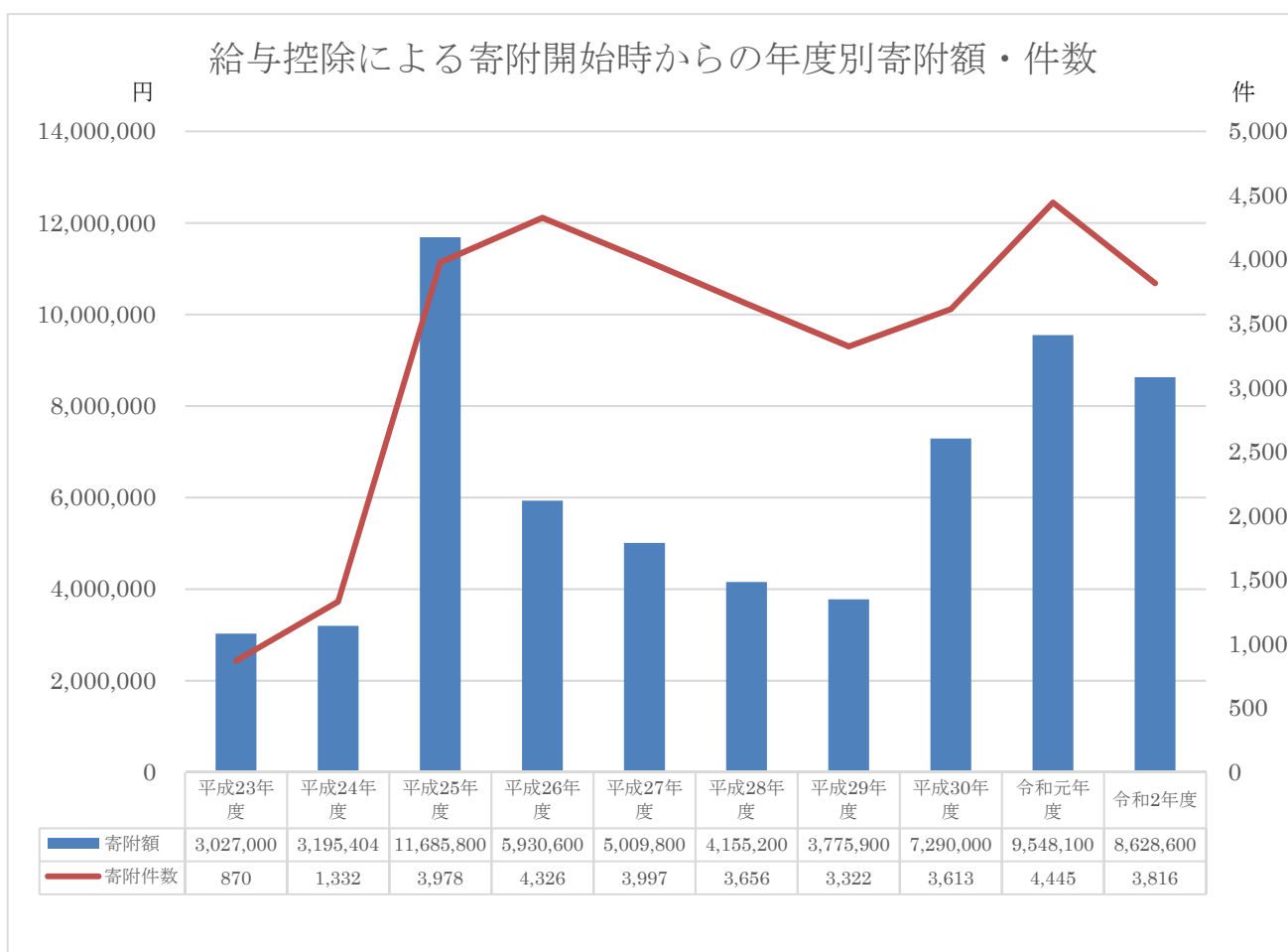
※3…現物資産活用基金は、有価証券（R1.12.18 寄附受け）の配当金である。

※4…令和元年度で終了した「附属駒場中・高 70 周年基金」6,005,000 円・141 件の実績値を含む。

○教職員向け給与控除による寄附実績

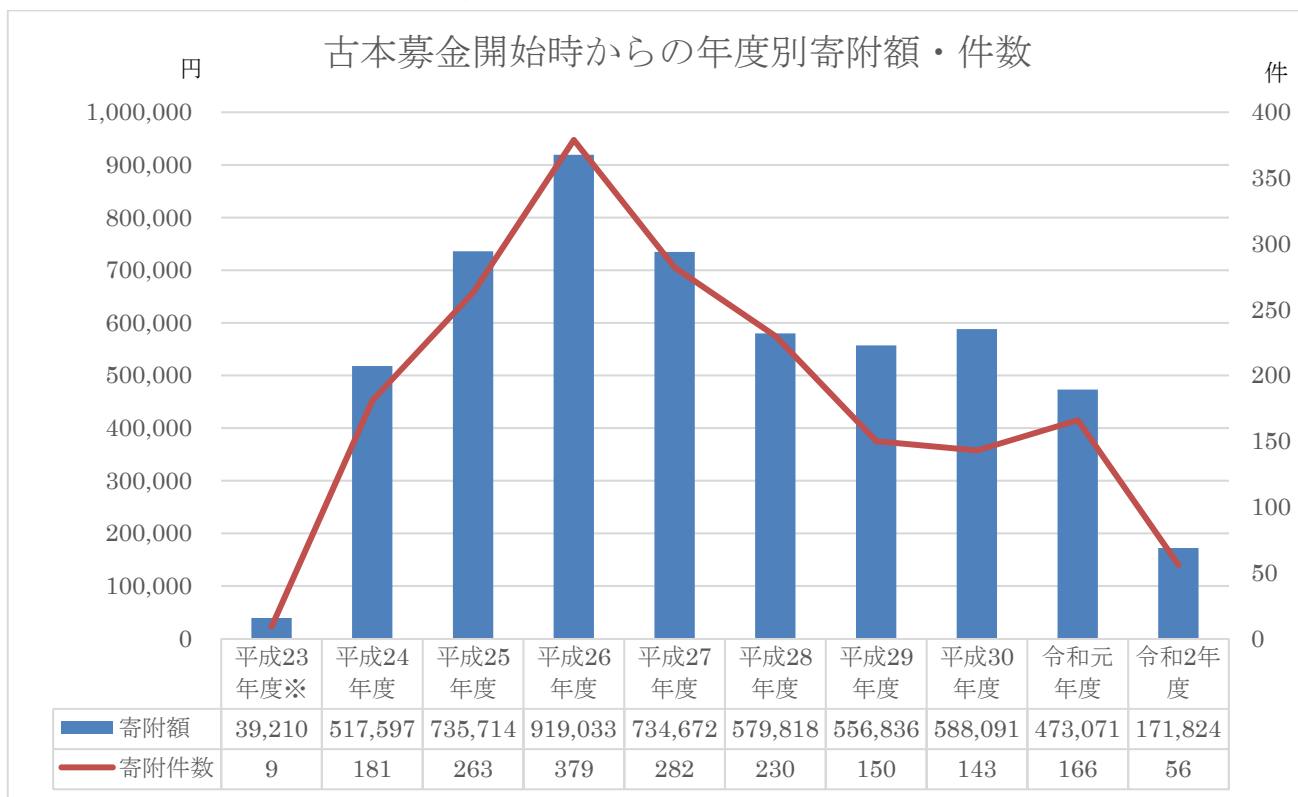
- ・件数 延べ 3,816 件
- ・寄附額 計 8,628,600 円

職種	登録者数
役員等	11
教員	132
事務職員・技術職員（非常勤職員を含む）	173
附属病院看護師	6
附属学校教員等	18
合計	340



○古本募金（一般基金の内訳として）

延べ 56 件 寄附額 計 171,824 円



※平成 24 年 3 月～

○現物寄附 1 件 22,683,085 円

・ 試合用ユニフォーム等

22,683,085 円

○預金利息

(単位：円)

行 名	普通預金利息	定期預金
三井住友銀行 つくば支店	234	—
三菱東京 UFJ 銀行 本店	1,083	—
常陽銀行 研究学園都市支店	4,356	—
筑波銀行 つくば営業部	126	—
クレディ・スイス銀行	—	300,000
合 計	5,799	300,000

■令和2年度 一般基金からの支援状況等

○用途特定分を除く一般基金からの支援

事項	支援実績額 (単位：円)
学生経済支援パッケージ	310,824,437
つくばスカラシップ	4,300,000
入金処理手数料等	3,834,116
執行額計	318,958,553

○一般基金に受け入れた、寄附者の意向に基づく用途特定寄附金からの支援

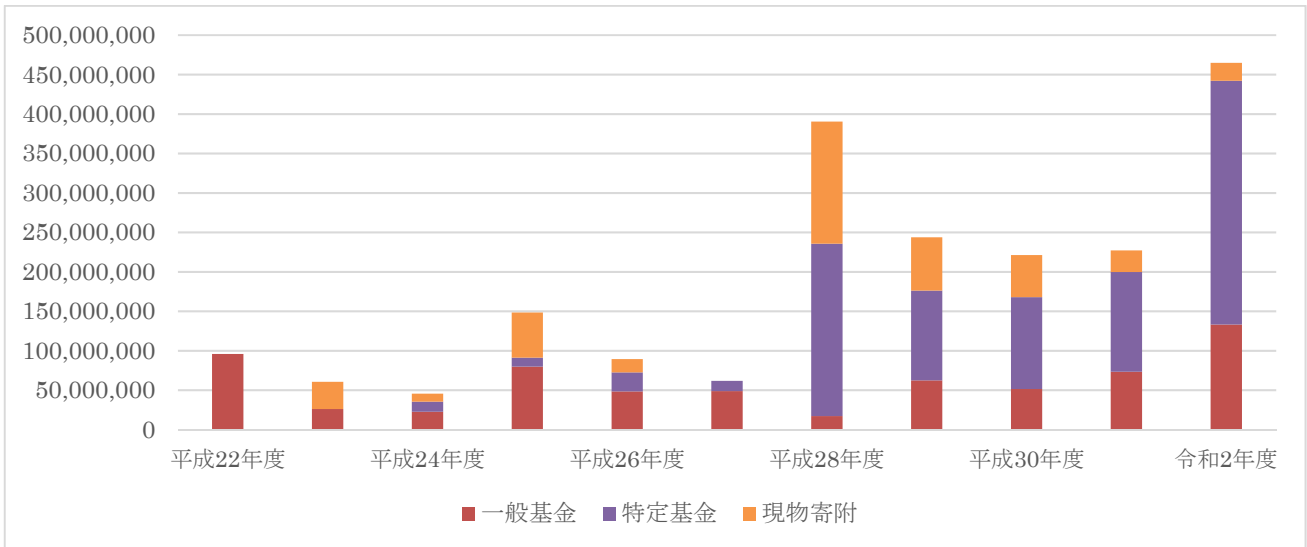
支援事項	支援実績額 (単位：円)
アーカイブ充実化のための支援 (総務課)	200,000
医学群への支援	500,000
研究支援 (人文・社会系、人間系)	350,000
国際統合睡眠医科学研究機構	100,000
博士後期課程学生への支援 (数理物質科学研究科)	500,000
附属図書館図書購入支援	1,300,000
アスレチックデパートメント	33,000,000
体育会への支援	8,629,571
附属小学校	9,005,000
附属中学校	14,541,000
附属高等学校	12,017,500
附属駒場中・高	33,436,200
附属視覚特別支援学校	3,095,000
附属大塚特別支援学校	1,000,000
執行額計	117,674,271

○「世界を変えよう基金」からの支援

支援事項	支援実績額 (単位：円)
社会・文化貢献事業支援	171,331
途上国ボランティア参加支援	46,000
大学附属図書館図書購入支援	193,765
人材育成プログラム (旧 国際人材養成プログラム)	115,000
鈴木奨学金	486,250
Summer Study Group	113,300
執行額計	1,125,646

■基金設立時からの年度別寄附額

○年度別寄附額（全体）

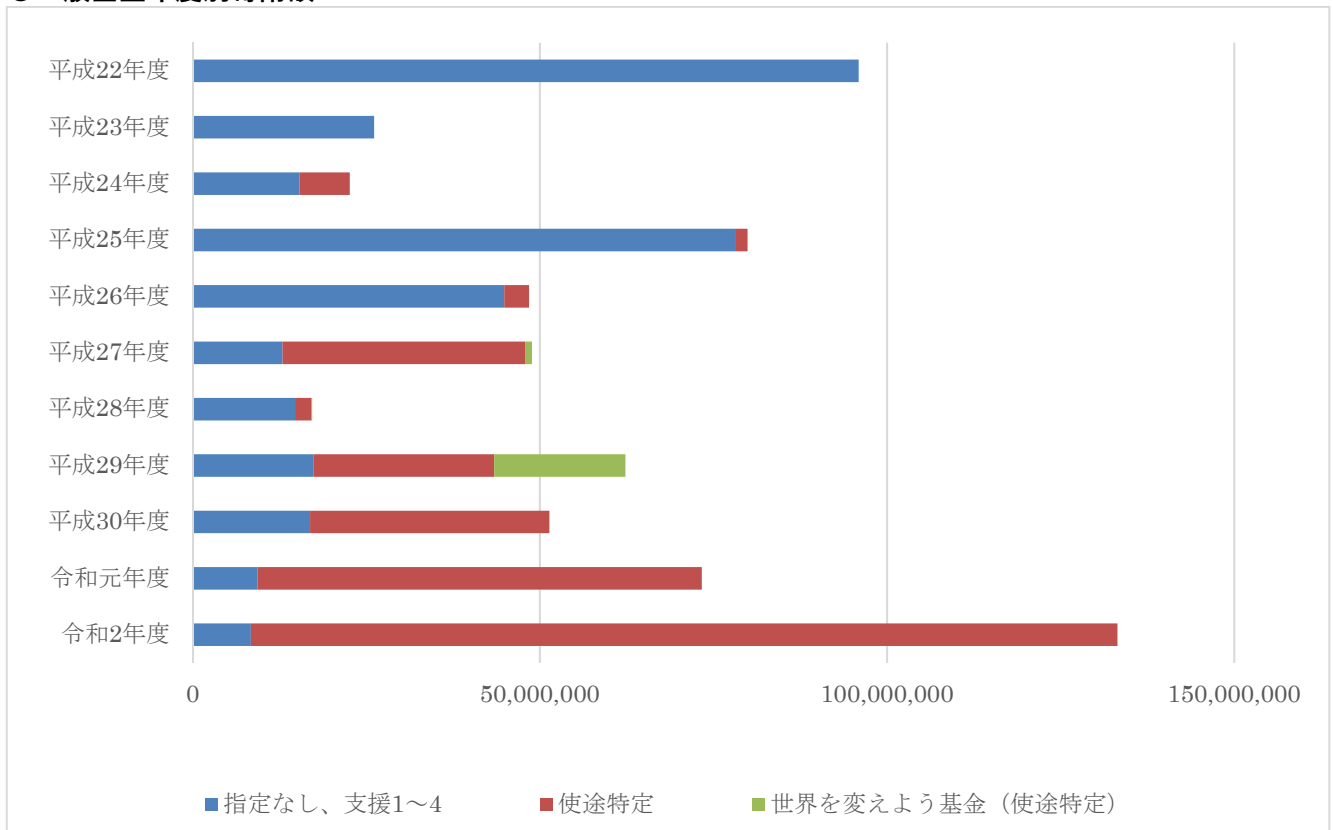


(円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
一般基金	95,905,932	26,127,250	22,624,007	79,921,162	48,438,663	48,865,983	17,205,694
特定基金	—	—	12,817,020	11,253,508	24,130,094	12,906,586	218,509,811
現物寄附	0	34,413,150	10,120,468	57,148,739	16,724,024	0	154,642,652
合計	95,905,932	60,540,400	45,561,495	148,323,409	89,292,781	61,772,569	390,358,157

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
一般基金	62,322,192	51,380,049	73,330,722	133,250,298	659,371,952
特定基金	113,834,721	116,511,609	126,343,246	308,923,338	945,229,933
現物寄附	67,671,300	53,391,184	27,437,024	22,683,085	444,231,626
合計	243,828,213	221,282,842	227,110,992	464,856,721	2,048,833,511

○一般基金年度別寄附額

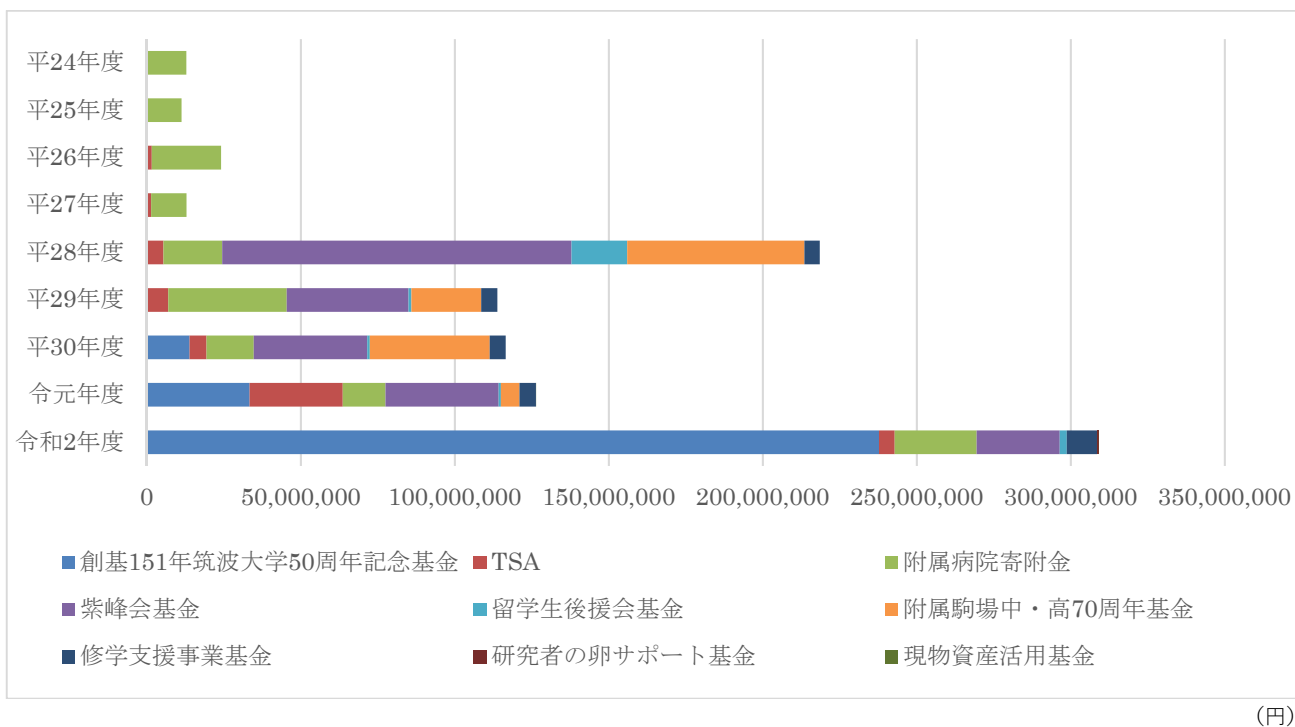


(円)

寄附目的	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
指定なし、支援 1~4	95,905,932	26,127,250	15,383,107	78,106,662	44,862,290	12,933,195	14,745,751
使途特定	—	—	7,240,900	1,814,500	3,576,373	34,932,788	2,359,943
世界を変えよう基金 (使途特定)	—	—	—	—	—	1,000,000	100,000
合計	95,905,932	26,127,250	22,624,007	79,921,162	48,438,663	48,865,983	17,205,694

寄附目的	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	合計
指定なし、支援 1~4	17,369,584	16,915,172	9,313,688	8,367,539	340,030,170
使途特定	26,052,608	34,464,877	64,017,034	124,782,759	299,241,782
世界を変えよう基金 (使途特定)	18,900,000	0	0	100,000	20,100,000
合計	62,322,192	51,380,049	73,330,722	133,250,298	659,371,952

○特定基金年度別寄附額



寄附目的	平 24 年度	平 25 年度	平 26 年度	平 27 年度	平 28 年度※1	平 29 年度
創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金※2	—	—	—	—	—	—
TSA	256,325	342,472	1,624,275	1,400,438	5,394,465	6,949,500
附属病院寄附金	12,560,695	10,911,036	22,505,819	11,506,148	19,099,165	38,482,592
紫峰会基金	—	—	—	—	113,416,016	39,569,000
留学生後援会基金	—	—	—	—	18,078,324	887,000
附属駒場中・高 70 周年基金	—	—	—	—	57,511,841	22,664,629
修学支援事業基金 (今川 FUTURE 基金含)	—	—	—	—	5,010,000	5,282,000
研究者の卵サポート基金	—	—	—	—	—	—
現物資産活用基金	—	—	—	—	—	—
合計	12,817,020	11,253,508	24,130,094	12,906,586	218,509,811	113,834,721

寄附目的	平 30 年度	令元年度	令和 2 年度	合計
創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金※2	13,900,400	33,378,384	237,707,165	284,985,949
TSA	5,496,000	30,244,791	5,116,000	56,824,266
附属病院寄附金	15,344,500	13,893,000	26,617,000	170,919,955
紫峰会基金	36,835,650	36,730,206	26,954,026	253,504,898
留学生後援会基金	804,000	745,000	2,281,000	22,795,324
附属駒場中・高 70 周年基金	38,929,059	6,005,000	—	125,110,529
修学支援事業基金 (今川 FUTURE 基金含)	5,202,000	5,341,000	9,892,000	30,727,000
研究者の卵サポート基金	—	—	350,000	350,000
現物資産活用基金	—	5,865	6,147	12,012
合計	116,511,609	126,343,246	308,923,338	945,229,933

※1 平成 28 年度寄附額には、紫峰会、留学生後援会からの移行資産を含む。

※2 「創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金」には、「新型コロナウイルス流行に伴う『学生のための緊急支援金』」も含む